

株主優待銘柄に注目していますか？

寄稿 / 仙石誠（東海東京調査センター マーケットアナリスト）

株主優待銘柄のパフォーマンスが相対的に良い

前回初めて「大人の投資倶楽部」に寄稿させて頂いたので、サイトにいってみると、「あっ、・・・」ということで、今回は株主優待について書かせて頂くことにした(サイトを見て頂ければ気が付くと思います。笑)。

筆者も株主優待銘柄には以前から注目しており、いずれはここでも書かせて頂く予定であった。注目している理由は、単に株主優待がお得だけでなく、株価パフォーマンスが良好となる可能性が高いと考えているからである。

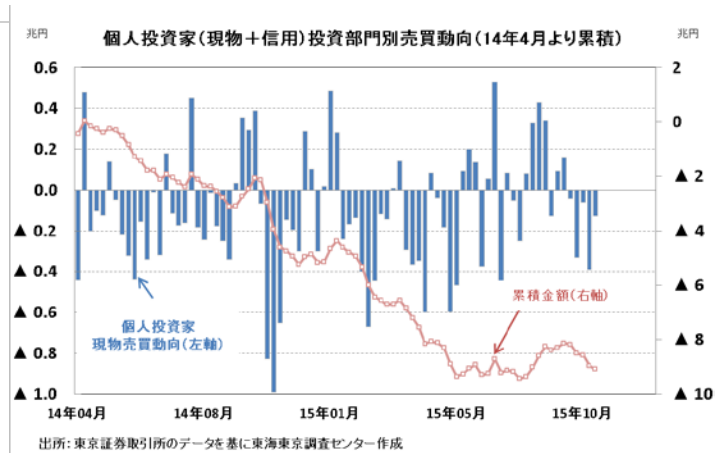
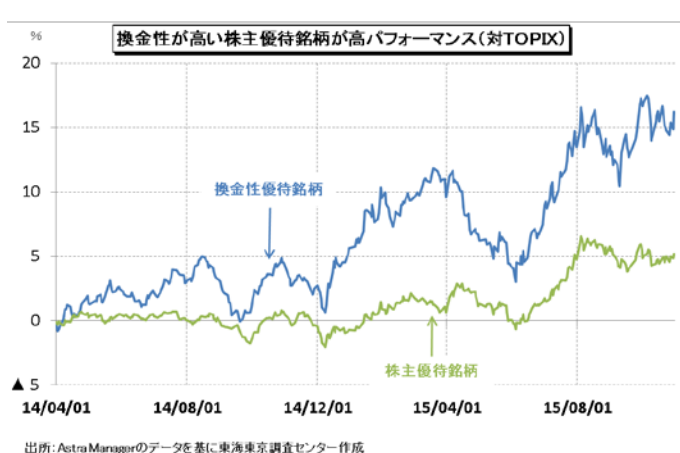
株主優待制度は日本独自の文化と言われている。株主優待銘柄として有名な企業と言えば、JR各社やディズニーランドを運営しているオリエンタルランドなどがあり、現在日本市場では1,200社を超える企業が株主優待制度を導入している。《図表1》には今年の2月時点で東証1部上場銘柄の株主優待制度を導入している会社の累積パフォーマンスを乗せている。緑色が株主優待銘柄ポートフォリオのパフォーマンスで、+5%ほどTOPIXをアウトパフォームしている。株主優待を貰いつつ、且つ株価パフォーマンスが市場平均以上と言うのは株主にとって一石二鳥と言えるのではないだろうか。また、より高いパフォーマンスとなっているのが換金性株主優待銘柄である。換金性株主優待とはギフトカードやお米券等の換金することが可能な株主優待。累積のパフォーマンスは対TOPIXで+15%と抜群のパフォーマンスを継続している。

売りが出難い銘柄の株価は上がり易い

換金性優待銘柄を中心に株主優待銘柄のパフォーマンスがなぜ高いのか、需給の面から紐解くと、売りが出難いことがその理由であると推測する。14年4月以降、日本株の売り手の中心は個人投資家である《図表2》。ただ、個人投資家の中には株主優待を目的に日本株を購入する人もいる。保有し続けて優待を受けることが目的であるため、株価が上昇してもすぐには売却しない。個人投資家から売りが出ない銘柄は、株価が上がり易い需給構造になっていると言えるだろう。様々な株主優待があるので、自分に合った株主優待を探してみるのもおもしろいだろう。(仙石 誠)

《図表1:株主優待及び換金性優待銘柄の累積パフォーマンス》

《図表2:個人投資家売買動向累積》



この資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。情報の正確性には万全を期しておりますが、その正確性・完全性・将来の運用成果の予測等を保証するものではありません。これらの情報によって生じたいかなる損害についても、情報提供会社等および当社は一切の責任を負いません。資産運用の際にはお客様の責任において最終的にご判断ください。この資料は、第三者への提供を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用等させることはできません。

金融商品等にご投資いただく際には、各商品等に所定の手数料等（国内株式取引の場合は約定代金に対して上限 1.242%（税込）（ただし、最低手数料 2,700 円（税込））の委託手数料、投資信託の場合は銘柄ごとに設定された販売手数料及び信託報酬等の諸経費、等）をご負担いただく場合があります。金融商品等には株式相場、金利水準の変動等による「市場リスク」、金融商品等の発行者等の業務や財産の状況等に変化が生じた場合の「信用リスク」、外国証券である場合には、「為替変動リスク」等により損失が生じるおそれがあります。さらに、新株予約権等が付された金融商品等については、これらの「権利を行使できる期間の制限」等があります。なお、信用取引又はデリバティブ取引を行う場合には、その損失の額がお客様より差入れいただいた委託保証金又は証拠金の額を上回るおそれがあります。手数料等およびリスクは、金融商品等ごとに異なりますので、契約締結前交付書面や上場有価証券等書面または目論見書等をよくお読みください。

東海東京証券の概要

- 商号等 : 東海東京証券株式会社 金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第 140 号
- 加入協会 : 日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会